

テーマ

美川再生プロジェクト

事業実施地区（中学校区名）	浜田市立第四中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	浜田市立美川公民館

テーマの背景

樹齢80年以上経過し、手入れもされず放置されていた周布川土手の桜。「美川の宝」である桜を地域住民(子ども・大人)が協働で守り、次世代に伝えていく活動を行いたいと考えた。地域全体で桜を守る活動、景観を守る活動を毎年体験することにより、ふるさとに愛着と誇りを持ち、景観を守り育てる人材の育成につながる。10年後20年後に若者が定住し子どもたちの笑いが聞こえ、地域住民同士が絆を深め、自らが自分たちの住む地域のために協力し、助け合って暮らせる安全安心のまちになるのではないかと考えた。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：菜の花と桜の共演事業

<取組の概要>

事前準備（周布川河川敷に菜の花の種まき）

- 企画・打ち合わせ・・・運営推進委員（6月22日）美川幼稚園・美川小学校・第四中学校（6月26日）
- 土手の草刈・・・地域自治会（6月24日）地域自治会・地域青年団(親友会・清流会)（8月5日）
- 樹木医との打ち合わせ・現地(周布川河川敷)で播種時期・方法について（9月20日）

当日(9月27日)

- 菜の花種まき・・・河川敷の土手に、地域住民(子ども・大人) 160名参加
幼小中全員(116名) 地域(15名) 保護者(16名) 教職員(13名)

菜の花の種蒔き



<成果と課題>

- 1 参加者(子ども・大人)が、取組を把握しての種蒔き活動により、子どもがゴミ拾いをするなど現状の認知と保全への意識が向上した。(秋の草刈にポイ捨てのコーヒー缶が激減していた)
- 2 子どもたちの参加に付随した保護者と地域の大人に、取組と活動の理解が得られた。
- 3 若者中心の美川春まつりを継続して開催をすることを通して、毎年、菜の花の種蒔き・地域住民が草刈りをするなど、菜の花の群生地形成確認と環境整備を行うことになる。若者を中心(企画・立案・実行)とした美川春まつりを継続して開催するための基盤づくりが課題である。

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守って行く活動の実施

事業名：桜テング巢病枝処理と施肥事業

テング巢病講習会と処理作業

<取組の概要>

事前準備

- 企画・打ち合わせ・・・運営推進委員（6月22日）
- 土手の草刈・・・・・・・・地域自治会（6月24日）
地域自治会・地域青年団（親友会・清流会）（8月5日）
- 作業・方法打ち合わせ・運営推進委員（11月7日）
地域青年団（親友会・清流会）（12月16日）
- 樹木医との打ち合わせ・現地（周布川河川敷）（1月7日）

当日（1月20日）

- 樹木医より作業説明・剪定の必要性と処理方法 28名参加



<成果と課題>

- 1 今回初めて樹木医の指導を受けて、テング巢病罹患桜の剪定および処理、冬における寒肥の施肥方法と必要性を理解した。
- 2 桜の保全を協働作業することにより、地域を牽引する青年団（2団体・55名）に目的を一同とする交流が生まれ、次年度以降も、近隣の桜の保全処理作業の確認をするなど、絆が図られた。
- 3 桜並木の隣接町内より、感謝と次年度以降の保全処理作業への参加の要望があった。
- 4 土手の桜を、地域住民（子ども・大人）が協働で守り育てるために、美川連合自治会・美川まちづくり・百寿会・青年団（清流会・親友会）など関係機関が協力して、若者を中心（企画・立案・実行）とした美川春まつりを継続して開催するための基盤づくりが課題である。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

地域住民（子ども・大人）が協働で蒔いた菜の花の種、テングス病に罹患した桜の枝幹処理と樹勢回復の施肥作業により咲く菜の花と桜の開花にあわせ、土手のライトアップや、美川春まつりを催すことにより、若者を中心（企画・立案・実行）とした美川春まつりを毎年開催して、地域住民（子ども・大人）が一堂に会して、菜の花と桜の花見をしながら、地域住民がお互いを認め合い、思いを話し合っって絆を深めることが、1人の百歩より100人の一歩を踏み出すことへの糸口である。

今後の展望

- 1 今年度春の開花を見極めて、土手の隣接自治会・美川まちづくり・百寿会・青年団（清流会・親友会）などの協力を得て、若者を中心（企画・立案・実行）とした美川春まつりを開催する。
- 2 年度当初に開催する平成31年度美川地域団体連絡協議会に、美川再生プロジェクトの活動報告と今後の取組への理解と協力を呼びかけることにより、美川地域で生活する住民同士の絆強化と、災害時における避難など、お互いが助け合い安心安全に暮らせることができる美川のまちづくりにつなげる。